

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	「看取り」についての説明に関し、ホームの考え方を明確にする文言記載を行い、入居者、家族との間に戸惑いが生じないようにすべきではないか。	ホームでの「看取り」は行わない事の文言記載を「重症化した場合における対応に関する指針に」行き、ターミナル期において、施設対応困難な判断の目安についての記載も追加する。	「重症化した場合における対応に関する指針」の中にホームでは対応できない具体例と最終決定が主治医であることをチーム連携して再度、検討・確認を行う。	12ヶ月
2	35	ホームで夜間火災が発生した場合、夜勤職員一人で、通報・避難誘導等行うのは、実際困難であるため、初期の応援連絡を明確にし、どういう担当を担ってもらうのか明確に記載していた方がよいのではないか。	初期に協力支援を行う部署と支援内容を記載した文書を作成し、互いに周知できるようにしておく。	初期に協力支援を行う部署と一緒に避難訓練を行い、検討内容に疑問点がないか確認する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。